



令和6年度(2024年度)第4号  
 豊中市立北緑丘小学校  
 令和6年(2024年) 7月 1日

# つながる学校

- 自分で考え、判断する力を持つ子ども
- 自分で目標に向かって、努力を続ける子ども
- ちがいを認め合い、相手の立場を尊重し、仲間とつながりあえる子ども

## プールの授業がはじまりました

6月11日(火)をスタートに本校もプールの授業が始まりました。この日は好天に恵まれ、プールサイドは熱く感じられるほどでした。はじめは恐る恐る水の中に入っていた子どもたちでしたが、慣れてくるにつれ大きな歓声をあげていました。

指導している先生が注意を促すとさっと静かになれるところが北緑丘小学校の子どもたちのいいところです。プールサイドの約束やバディ(友だちと組になって相手の健康をかくにんすること)、水なれのしかたや浮き方など、一つひとつ丁寧に確認していきました。

今月半ばまでしっかりと経験してほしいと思います。



## 「わのわ」による読み聞かせ

昨年も紹介しましたが、地域連携ステーション事業の一環としてボランティアグループ「わのわ」さんによる読み聞かせが始まりました。水曜日の朝、「1・3・5年」「2・4・6年」の週に分かれて「わのわ」の方々を担当の教室に入って子どもたちに絵本を読んでくださいます。子どもたちは、いつもの先生とは違った雰囲気の中で静かに話を聞き、どのクラスも終わった時には拍手が起こっていました。

地域連携ステーション事業では授業に入ってくるボランティアを募集しています。興味を持たれた方がいらっしゃればぜひご参加いただければと思います。よろしくお祈りします。



## 学校紹介

6月半ば、今年学校に入ってきた1年生のために2年生が学校紹介をしてくれました。この日のために、2年生は下調べをし、クイズを考え、紹介する文を何度も練習していました。

2年生は図書館、保健室、職員室・・・など学校のあちらこちらの担当の場所にわかれ、1年生が来るのを待ちわびていました。1年生も2年生の説明やクイズを楽しそうに聞いていました。このように異学年の交流の中で子どもたちは育っていくのです。



## 学校教育目標について②

先月に引き続き、学校教育目標について書きたいと思います。今回は本校で大切にしたいと考えている人権教育についてです。



本校の子どもたちはとても優しいです。これは他校から異動してきた先生方が異口同音に言われることです。このことは本校の子どもたちの大きなリソースであると考えられます。このことに加え、子どもたちがさらにパワーアップしてほしいとの思いから、各学年の目標ができてきました。今下足室を入ったところにそれぞれの学年目標が掲示してあります。**1年「ワンダフル」、2年「スイッチオン!!」、3年「ぼかぼか」、4年「One for All」、5年「実るほど頭を垂れる稲穂かな」、6年「OVER THE TOP」**どれも「よりメリハリをつける」ことや「自分だけでなく、友だちのことを思って」といった思い・願いが入ったすてきな目標だと思っています。

(次項に続きます)

本校の人権教育のテーマは「**わたしも あなたも 大切に ～多様性を認め、笑顔の わをつくろう～**」です。

キーワードは「**多様性**」です。互いの相違を認め合い、尊重し合える人間関係です。この実現のため今年度も次の2点を重点として地道に取り組んでいきたいと思っています。

#### ①「共生体育」の研究を進める

昨年度から本校では「共生体育」の研究を始めました。このことは特別なことではなく、現行の指導要領の体育の解説編の中に「**体力や技能の程度、年齢や性別及び障害の有無等にかかわらず、運動やスポーツの多様な楽しみ方を共有することができるよう指導内容の充実を図ること。その際、共生の視点を重視して改善を図ること。**」とあります。この共生体育の視点に立ち、普段の姿を見直していくことで、きっと多様性を認め合える人間関係が築けるのではと考えます。

#### ②府立豊中支援学校との交流を深める

本校は校区に府立豊中支援学校があり、今までその交流を大切にしてきた学校です。残念ながらコロナ禍においては十分な交流をすることはできませんでした。

昨年度から同じ学年との交流を復活することができました。他の学校では経験のできない貴重な体験をすることができるすばらしい機会だと思っています。また、昨年度からは豊中支援学校の「豊中フェスティバル」に本校のPTAが参加するなど、保護者を通じての交流も生まれてきています。今後2校の交流がさらに深まり、互いに尊重し合える関係づくりが深まってほしい、と切に願っています。